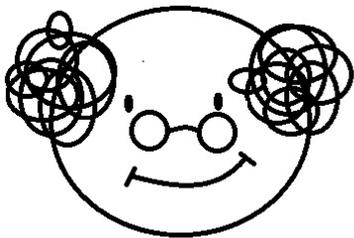
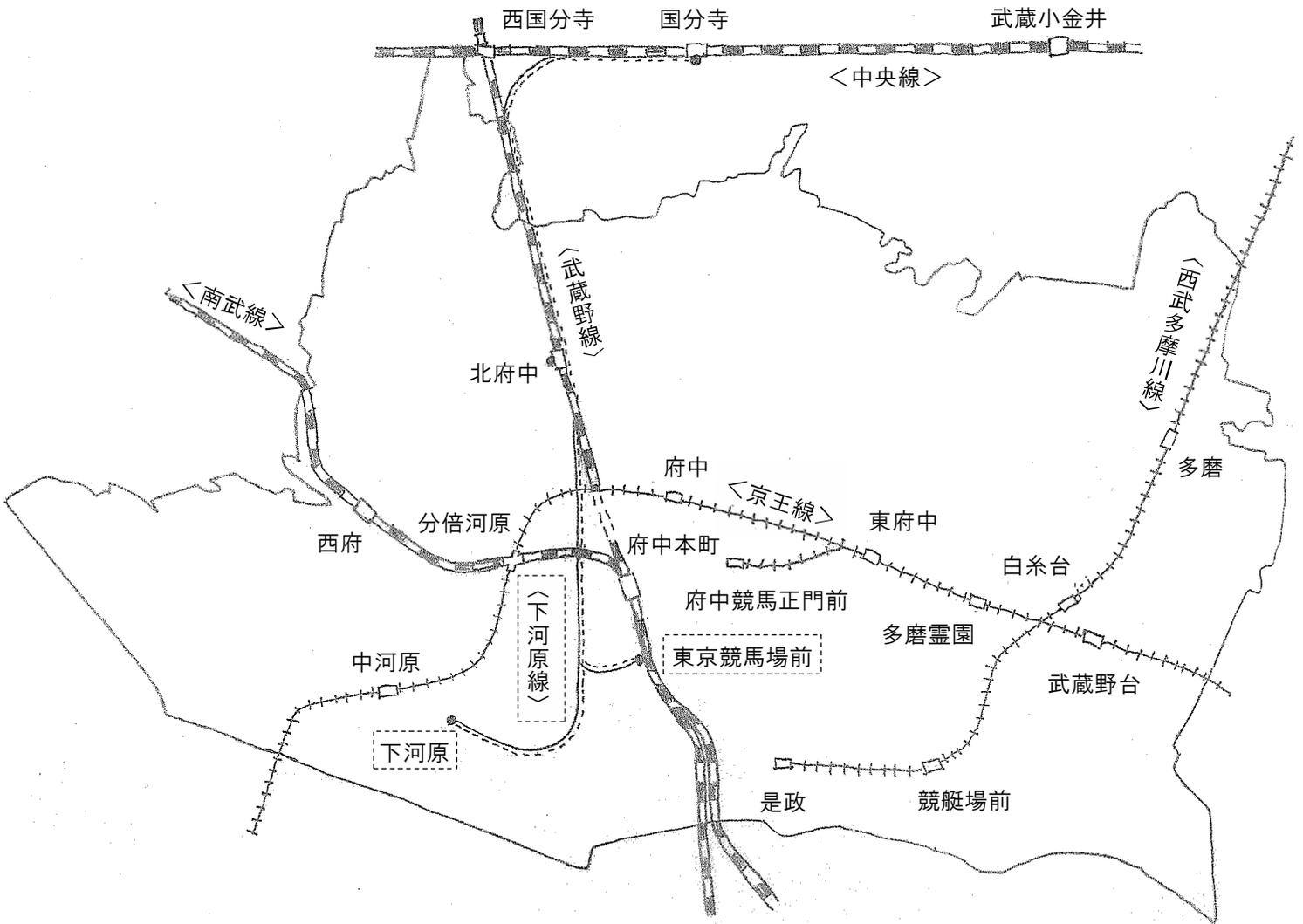
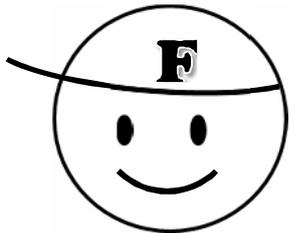


ふちゅう てつどう 府中の鉄道



きょうは府中の^{てつどう}鉄道
の話をしようね

ぼくが知らない
電車もあるのかな

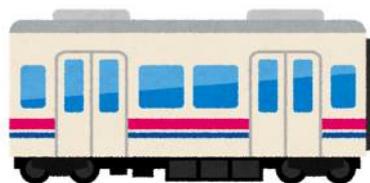


はじめに

江戸時代、府中は甲州街道の宿場として、多くのものや
人などでにぎわっていました。やがて、明治22（1889）
年、甲武鉄道（現在の中央線）が開通して、鉄道を利用す
るために「国分寺」駅の方に人が集まるようになりました。
その後、鉄道駅がなかった府中に鉄道が開通し、駅ができた
ことによって、まちの発展につながりました。



けいおうせん 京王線



京王線の歴史は、明治43（1910）年にはじまりますが、実際に開通し
たのは大正2（1913）年です。その頃、京王線は京王電気軌道と呼ばれ、
「笹塚」－「調布」間を一両編成で運行していました。そして、大正5（19
16）年10月に「府中」駅が誕生すると、府中から新宿まで約1時間で行け
るようになりました。

また、八王子から府中へ鉄道を敷くために玉南鉄

道株式会社が大正9（1920）年にできました。

そして、玉南鉄道は大正14（1925）年に開通

し、大正15（1926）年12月に京王電気軌道

と合併しました。この時点では、軌間*1が異なるため

車両の乗り入れができず、乗客は「府中」駅で乗

り換えていました。そこで、2年かけて線路の幅を

変更する工事などを完了させ、昭和3（1928）

年5月22日に、「新宿」－「東八王子」間を1本

の路線で結びました。これが、現在の京王線の原型

です。

京王線は長い年月をかけて会社のすがたや名前を

変えていきましたが、平成10（1998）年7月

に現在の会社の名前、京王電鉄株式会社としました。

*1 軌間とは？

線路のレールの内側の幅のことで、ゲージともいいます。

1435mmを標準軌とし、それより狭いものを狭軌、広いものを広軌と呼びます。

標準軌 1435mm

狭軌 1067mm

南武線

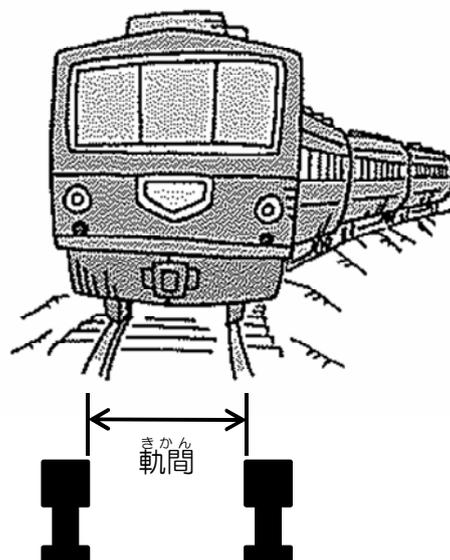
武蔵野線

西武多摩川線

下河原線

狭軌 1372mm

京王線



えきしょうかい 駅紹介

むさしのだい しらいとだい ちようめ 〈武蔵野台〉（白糸台4丁目）

たいしょう かいぎよう とき えきめい ちめい くるまがえし
大正5（1916）年に開業した時の駅名は、地名からとった「車返」でした。

ご しょうわ あた むさしのだいち むさしの
その後、昭和34（1959）年にこの辺りが武蔵野台地であることから「武蔵野
台」になりました。駅の西側に西武多摩川線があります。

た まれいえん しみず おか ちようめ 〈多磨霊園〉（清水が丘3丁目）

かいぎよう とき えきめい た ま しこうえんぼちまえ ご た
開業した時の駅名は「多磨」で、のちに「市公園墓地前」になり、その後「多
まれいえん た まれいえん えき とりつ た まれいえん
磨霊園」になりました。「多磨霊園」駅から都立多磨霊園までは1.5 kmほど
の距離があります。駅の近くには東郷寺があり、しだれ桜ごしに見る山門のな
がめうつく おお ひと たのの美しさは多くの人を楽しませています。

ひがしふちゅう しみず おか ちようめ 〈東府中〉（清水が丘1丁目）

げんざい ばしょ かいぎよう とき えきめい りんじけいばじようまえ むかし いま
現在の場所に開業した時の駅名は「臨時競馬場前」でした。昔は今よりも

やく えきよ はちまんまえ えき ひがしふちゅう
約500m「府中」駅寄りに「八幡前」という駅がありましたが「東府中」に
えきめい か ご りんじけいばじようまえ ひがしふちゅう とうごう えき
駅名を変えました。その後、「臨時競馬場前」と「東府中」は統合されて、駅は
いま ばしょ ひがしふちゅう
今の場所で「東府中」となりました。

ふちゅう みやまち ちようめ 〈府中〉（宮町1丁目）

えきめい むさしのくに こくふ べつめい
駅名は武蔵国の国府の別名から「府中」となりました。

かいぎようとうじ えき ちじよう げんざい こうかか *2
開業当時、駅は地上にありましたが、現在は高架化*2

されています。新駅舎は平成10（1998）年に関東の

えきひやくせん せんてい
駅百選に選定されました。

*2 こうかか
高架化とは？

じめん どうろ たか
地面や道路より高く
せんろ つく
線路を作ること。

この場合、踏切をなく
すため。

ふ ばいがわら かたまち ちょうめ
〈分倍河原〉 (片町2丁目)

かいぎょう とき えきめい とうじ ちめい やしきぶん ぶ ばい
開業した時の駅名は当時の地名にちなんで「屋敷分」でしたが、のちに「分倍
がわら あたら えきめい かまくらばくふ たお へい あつ につたよきだ
河原」になりました。新しい駅名は鎌倉幕府を倒すために兵を集めた新田義貞
かまくらばくふがた ほうじょうやすいえ たたか ぶ ばい こそせんじょう ぶ ばいがわら こそせんじょう
と、鎌倉幕府方の北条泰家が戦った分梅古戦場 (分倍河原古戦場) があった
しじつ もと
という史実に基づいています。

なかがわら すみよしちょう ちょうめ
〈中河原〉 (住吉町2丁目)

えき ばしよ むかし たまがわ かわら
駅の場所が、昔は多摩川の川原だったことから、この
えきめい たまがわ じゃり はこ せんろ てっ
駅名がつけられました。多摩川の砂利を運ぶ線路が撤
きよ しょうわ かまくらかいどう けいおうせん
去され、昭和49 (1974) 年に鎌倉街道と京王線
りったいこうさ こうかえき
が立体交差*3する高架駅になりました。

*3 りったいこうさとは？

せんろ どうろ じょうげ
線路や道路が上下に
ちが たか まじ
違った高さで交わる
と。

ふちゅうけい ばせいもんまえ はちまんちょう ちょうめ
〈府中競馬正門前〉 (八幡町1丁目)

けいばじょう せいしき なまえ とうきょうけいばじょう えき かいぎょう とき とうじ
競馬場の正式の名前は東京競馬場といいます。この駅が開業した時には、当時
こくてつしものがわらせん とうきょうけいばじょうまえ えき けいおうせん ぶちゅうけいば
の国鉄下河原線に「東京競馬場前」という駅があったので、京王線は「府中競馬
せいもんまえ えきめい
正門前」という駅名にしました。

けいば ひ ひろ
競馬がない日には、広い
プラットフォームで映画
えいが
やドラマの撮影をする
ざつえい
こともあるよ！



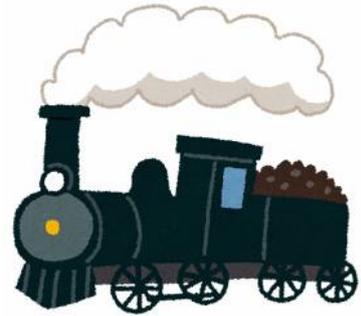
しもがわらせん 下河原線

しもがわらせん たまがわ と じゃり はこ
下河原線は、多摩川から取った砂利を運ぶため、
めいじ とうきょうじゃりてつどう
明治43（1910）年に「東京砂利鉄道*4」と
して、こくぶんじ しもがわら げんざい みなみちよう ちようめ
「国分寺」－「下河原」（現在の南 町 5丁目
のあたり）かん かいつう
間、7.1 kmを開通しました。

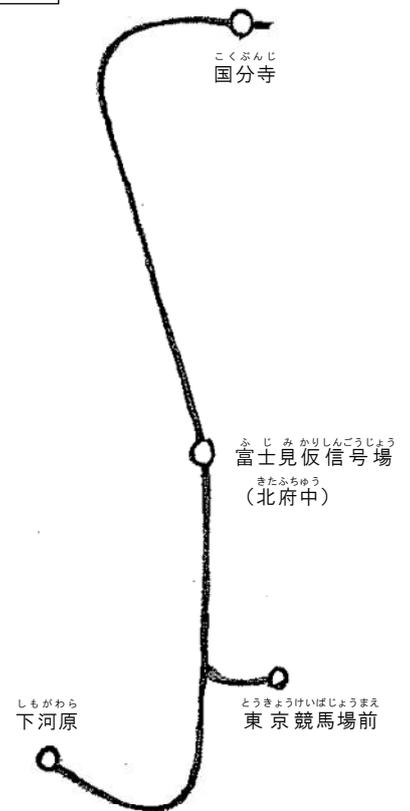
そのご たいしやう 3（1914）年に起こったたま
がわ こうすい ひがい うんきゆうじやうたい
川の洪水による被害で運休状態になりましたが、
たいしやう ふっきゆう たいしやう
大正5（1916）年に復旧、大正9（192
0）年にこくゆうか くに かんり うんえい
国有化され、国が管理や運営をすることに
なり、なまえ しもがわらせん
なり、名前も下河原線となりました。

しかし、たいしやう 10（1921）年にしもがわらせん
じゃり はこ ひつよう かもつゆそう いちじ
砂利を運ぶ必要がなくなったため、貨物輸送は一時
はいし
廃止になりました。

しょうわ とうきょうけいばじやう
昭和8（1933）年、府中に東京競馬場がで
きると、よくとし しょうわ なんぶてつどう
翌年の昭和9（1934）年に南武鉄道の
ふちゆうほんまち えき みなみがわ げんざい やざきちよう ちようめ
「府中本町」駅の南側（現在の矢崎 町 1丁目のあ
たり）しもがわらせん とうきょうけいばじやうまえ えき
りに下河原線の「東京競馬場前」駅ができま
した。そしてこくぶんじ とうきょうけいばじやうまえ かん
「国分寺」－「東京競馬場前」間、
5.6 kmででんき はし けいば ひ
電気で走るようになり、競馬がある日
のみ、きやく の えいぎやう
お客を乗せて営業されるようになりました。



しもがわらせん
下河原線



*4 砂利鉄道とは？

おも じゃり はこ
主に砂利を運ぶために
敷かれた鉄道のことを指
します。とうきょうしやりてつどう
東京砂利鉄道は
とうきょうしゆうへん ほんかくてき
東京周辺で、本格的に
じゃり はこ
砂利を運ぶようになった
さいしよ じゃりてつどう だい
最初の砂利鉄道だと言
われています。

「国分寺」から3.3km地点には、近くの工場
や、旧陸軍燃料廠*5への引込線*6の分かれ目にな
る「富士見仮信号場」ができましたが、ここは後の
「北府中」駅になる場所です。

第二次世界大戦末期から戦後にかけての、昭和1
9（1944）年10月から昭和22（1947）年
4月の間、下河原線の旅客営業（お客を乗せて走
る）は停止されましたが、東芝府中工場・日本製鋼
所・日本小型飛行機の通勤者専用電車として、「国分
寺」－「富士見仮信号場」まで運行していました。

戦争が終わり、昭和22（1947）年4月、東京
競馬場の再開にあわせて、競馬がある日のみ旅客運行
を開始しました。

そして昭和24（1949）年に、旅客車の通常
運転を開始、昭和27（1952）年に、貨物輸送
が復活、昭和31（1956）年には「北府中」駅
ができました。

この時「東京競馬場前」駅は、日本一長い名前の駅としても知られていまし
た。

その後昭和40（1965）年頃には、多摩川からだんだん砂利を取ること
ができなくなり、下河原線の貨物輸送も少なくなってきました。

競馬のない平日は、おもに東芝府中工場や日本製鋼所に勤めている人の

*5 旧陸軍燃料廠とは？

戦前、戦争に必要な航
空機や自動車の燃料や
潤滑油を確保するため
につくられた工場です。
府中の陸軍燃料廠は
昭和15(1940)年に
建設され、昭和20(19
45)年の終戦とともに
その役割を終えました。
跡地は現在、航空自衛
隊府中基地や都立府中
の森公園などに利用さ
れています。

*6 引込線とは？

鉄道の本線から分かれ
て、車両基地や工場など
の敷地内に線路が引き
込まれていたことから
引込線と呼ばれます。

通勤用電車として利用されてきましたが、昭和48（1973）年4月1日に

「府中本町」－「新松戸」（千葉県松戸市）間に武蔵野線が開通したことにより、

前日の3月31日で、下河原線の「国分寺」－「東京競馬場前」間の旅客運行は終わりました。

その後も「北府中」－「下河原」間の貨物輸送は続けられましたが、昭和5

1（1976）年9月20日、すべての運行が終わりました。

この下河原線の線路跡地が、下河原緑道として整備されています。緑道の

北側の道には、2本のレールが埋め込まれていて、かつてここに鉄道が通っていたことがわかるようになっています。



せいぶ たまがわせん 西武多摩川線



た まがわ じゃり しょうきやく はこ た まてつどう めいじ ろせん
多摩川の砂利と乗客を運ぶため、多摩鉄道が明治41（1908）年に路線
にんか う たいしょう さかい げんざい むさしさいかい
の認可を受け、大正6（1917）年10月に「境」（現在の「武蔵境」）－
きたたま げんざい しらいとだい かん かいつう
「北多磨」（現在の「白糸台」）間の5.5 kmが開通しました。

たいしょう
そして、大正8（1919）年6月に「北多磨」－「常久」（現在の「競艇場前」）
まで、さらにたいしょう つねひさ これまさ の
大正11（1922）年6月に「常久」－「是政」まで延びて、
ぜんちょう ろせん かんせい
全長8 kmの路線が完成しました。

しょうわ きゅうせいぶてつどう かいしゃ いっしょ せいぶ たません
昭和2（1927）年には旧西武鉄道と会社が一緒になり、「西武多摩線」
よ
と呼ばれるようになりました。

ちか とうきょうしえい たまぼち げんざい とりつ たまれいえん たいしょう
そして、近くに東京市営多磨墓地（現在の都立多磨霊園）が大正12（1
923）年にかいえん さんばいしゃ ふ しょうわ たま
開園して参拝者が増えたことから、昭和4（1929）年に「多磨
ぼちまえ げんざい たま えき しょうきやく ゆそう ちから い
墓地前」（現在の「多磨」）駅をつくって乗客の輸送にも力を入れるようにな
りました。

しょうわ これまさ けいばじょう ちか えんちょう けいかく
昭和7（1932）年には、「是政」から競馬場の近くまで延長する計画も
なんぶてつどう けいおうでんきてつどう けいばじょうちか えき かいせつ
できましたが、南武鉄道や京王電軌鉄道など、すでに競馬場近くに駅を開設し
ほか てつどうがいしゃ ちゅうし
ている他の鉄道会社があったため中止となりました。

こ これまさせん むさしさいせん せいぶ たまがわせん めいしょう あらた
その後、「是政線」、「武蔵境線」、そして西武多摩川線と名称が改められま
しょうわ ぜんせんてんか しょうききかんしゃ はし
した。また、昭和25（1950）年に全線電化されるまでは、蒸気機関車が走
っていました。

とうじ たまがわ じゃり たいりょう の かしや きたたま つねひさ かん きゅう しゃめん
当時、多摩川の砂利を大量に載せた貨車は「北多磨」－「常久」間の急な斜面

いっきのほを一気に上ることができなくて、ぎやくもどりしてかそくをつけてさかののりきったといわれています。

やがて、じゃりととあとちきゅうたまそんりつちゅうがっこうあとちりょうふちゅうきょうていじょうげんざいたまがわきょうていじょうつくきょうていかいさいび競艇場（現在は多摩川競艇場）が造られました。競艇開催日にはたくさんひとせいぶたまがわせんりょうの人たちがこの西武多摩川線を利用しています。

また、へいせい12（2000）年にとうきょうがいくごくだいがく「たまぼちまええきちかいてん」駅の近くに移転してきて、よくとしえきめい「多磨」駅と改められ、さらにとうきょうあじ「多摩」駅と改められ、さらにとうきょうあじもと素スタジアム）が移転してくるととなりきたたまえき「北多磨」駅もしらいとだいえきえきめい「白糸台」駅という駅名になりました。

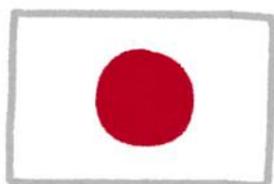


なんぶせんへいせい19（2017）年にかいぎょうしゅうねんむかはじ南武線は、平成29（2017）年に開業90周年を迎えます。その始まりはしょうわ2（1927）年3月、はじめはなんぶてつどうよとうじ「南武鉄道」と呼ばれていました。当時、きゃくのはしりょくせんかわさきえきのほりとえきかいつうお客を乗せて走る旅客線は「川崎」駅から「登戸」駅までしか開通しておらず、ふちゅうしないるせんのよくとしふばいがわらえきとうじやしきぶん府中市内まで路線が伸びるのはその翌年です。「分倍河原」駅（当時は「屋敷分」駅）までがしょうわ3（1928）年に開通し、その翌年のしょうわ4（1929）年にようやくげんざいおなかわさきえきたちかわえきふちゅうしないなんぶ線と同じ「川崎」駅から「立川」駅までがつながり、府中市内を南武

せん おうだん
線が横断するようになりました。

ご しょうわ
その後、昭和19（1944）年、南武鉄道が国有化され、
なんぶせん しょうわ こくてつみんえい
南武線となります。昭和62（1987）年には国鉄民営
か *7・8 によりJR東日本が旧国鉄から南武線をひきついで、
げんざい
現在にいたります。

ところで、南武線が何を運ぶために作られたか知っていますか？
かいしゃ でんしゃ はし めんきょ もう で な
会社が電車を走らせるための免許を申し出たときの名
まえ たまがわじゃりてつどう ひと たま
前は「多摩川砂利鉄道」でした。もともとは人ではなく多摩
がわ じゃり はこ おも もくてき なんぶせん じゃり
川の砂利を運ぶのが主な目的でした。そのため南武線は砂利
をすぐ運べるように多摩川に沿って走っています。南武線は
そうぎょうらい かもつゆそう さか ほんすう すく
創業以来、貨物輸送が盛んでした。本数は少なくなりました
げんざい かもつれっしゃ はし すがた み
が、現在も貨物列車が走っている姿を見ることができます。
なんぶせん しゃりょう かいがい かつやく へいせい
南武線の車両は海外でも活躍しています。平成27（20
15）年南武線で長く運行してきた205系車両がインドネ
シアのジャカルタ首都圏鉄道にひきとられました。ジャカル
タでは、いろ ぬ か なんぶせん はし
色を塗り替えられた南武線が走っています。

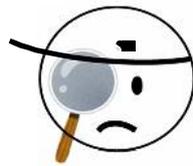
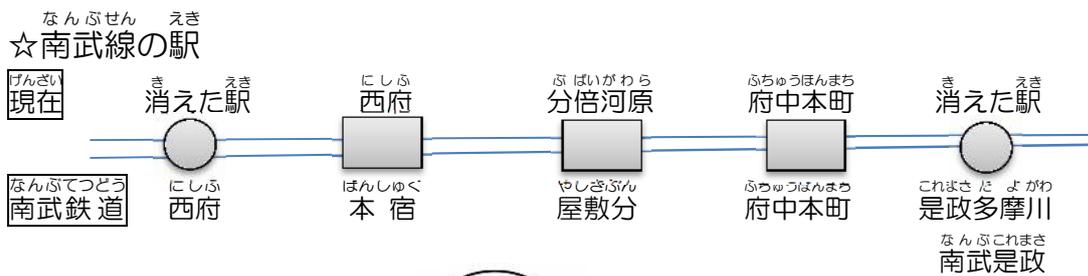


*7 国鉄ってなに？

せいしき にはほんこくゆうてつどう
正式には日本国有鉄道
といえます。めいじ 5
（1872）年に開業して
いらい くに かんり うんえい
以来、国が管理、運営し
てきた鉄道事業を受け
継いで、しょうわ 24（1949）
年に発足しました。鉄道
いがい にも じどうしゃ じぎょう
以外にも、自動車事業
やせんぱく びょういん やまきゅう
など船舶、病院、プロ野球
等の仕事も行っていました。

*8 国鉄民営化ってなに？

せいしき こくてつぶんかつみんえい
正式には国鉄分割民営
化といえます。しょうわ 62
（1987）年4月1日か
らこくてつ おこな して
国鉄が行っていた仕
ごとは、いくつかに分けら
れてくに かわってかいしゃ
が国に代わって会社
が行うことになりました。
JRひがしにほん や JRにしにほん
JR東日本やJR西日本
などが仕事を引継いでい
ます。



き にしふ えき
★消えた「西府」駅

なんぶてつどうじだい ほんしゆく げん にしふ や ほ かん にしふ えき げんざい
南武鉄道時代、「本宿」(現・「西府」) - 「谷保」間にも「西府」駅が存在し
ていました。消えた「西府」駅の位置は現在の「西府」駅よりも700mほど北側
の甲州街道に架かる西府橋と南武線が立体交差する地点です。停留場→駅→
停留場と移り変わり、最後は国有化と同時になくなりました。南武鉄道時代の
「西府」駅はなくなり、「本宿」駅が今の「西府」駅となりました。

き えき ほか
★消えた駅は他にも...

なんぶてつどうじだい げんざい き えき おおまる げん
南武鉄道時代には存在していて消えた駅がもうひとつあります。「大丸」(現・
「南多摩」) - 「府中本町」間に設置された駅で初めは「是政多摩川停留場」
と呼ばれていました。それから、「南武是政」駅と名前を変え、停留場→駅→
停留場と移り変わり、最後は国有化と同時になくなりました。

えきしょうかい
駅紹介

ふちゅうほんまちえき ほんまち ちょうめ
＜府中本町駅＞ (本町1丁目)

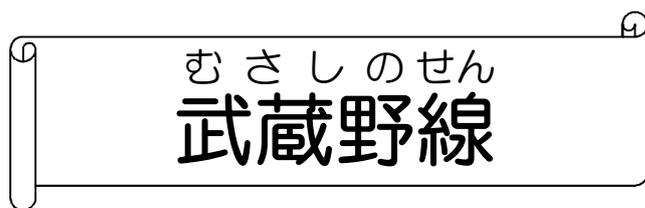
ふちゅうほんまち えき なんぶせん しょうわ むさしのせん しょうわ
「府中本町」駅は、南武線が昭和3 (1928) 年に、武蔵野線は昭和48 (1
973) 年に開業しました。駅舎 (駅の建物) は橋の上にあります。改札を
入り階段を下りた地面にホームがあります。南武線と武蔵野線の乗換客で混雑
するほか、競馬がある日のみ開かれる臨時改札口もあり、当日はたくさんの

乗客でにぎわいます。駅の改札を出て、すぐ右手には徳川家康が鷹狩の時に寄ったと言われる府中御殿跡があります。

〈分倍河原駅〉*京王線で紹介しています。

〈西府駅〉(本宿町1丁目)

「西府」駅は南武鉄道が昭和6(1931)年に設置した駅で当時「本宿」と呼ばれていました。利用者の少なさや隣駅の「分倍河原」駅と近いため、昭和19(1944)年に国有化されたときになりました。しかし、平成21(2009)年3月14日にJR東日本が「西府」駅を新設して65年ぶりに復活しました。北口から徒歩10分ほどで上円下方墳がある武蔵府中熊野神社古墳にも立ち寄れます。



武蔵野線は、府中市のほぼ中央部を南北に走っています。

武蔵野線の建設は大正時代の頃から計画されていました。当時、首都東京を中心として、そのまわりの貨物を運んでいたのは山手貨物線でしたが、時代が進むと共に貨物が増え、別の路線が必要となり武蔵野線ができました。

昭和48(1973)年4月1日に「府中本町」-「新松戸」(千葉県松戸市)

かん ふぶんかいつう しょうわ つるみ かながわけんよこはまし
間が部分開通し、昭和51（1976）年3月1日に「鶴見」（神奈川県横浜市）

— 「府中本町」間が加わりました。さらに昭和53（1978）年10月2日
に「新松戸」—「西船橋」（千葉県船橋市）間が開通して100.6kmの全線
がつながりました。

「府中本町」—「西船橋」間は開通した時から旅客輸送もしていましたが、
むさしのみなみせん よ つるみ ふちゅうほんまち かん げんざい かもつせんよう
武蔵野南線と呼ばれる「鶴見」—「府中本町」間は、現在も貨物専用です。

とうきょう としんぶ はんえんけい せんろ し としん
東京の都心部から20～30kmを半円形に線路を敷いています。都心から
こうがい はし ほか ろせん りょうほう りょう たんきよりきやく おお ぜんせん の とお りょう
郊外に走る他の路線の両方を利用する短距離客が多く、全線を乗り通す利用
きゃく すく とくしやく
客は少ないのが特色です。

駅紹介

ふちゅうほんまちえき なんぶせん しょうかい
〈府中本町駅〉*南武線で紹介しています

きたふちゅうえき はるみちよう ちょうめ
〈北府中駅〉（晴見町2丁目）

ふちゅうほんまち えき おな むさしのせん しょうわ かいぎょう
「府中本町」駅と同じように武蔵野線としては昭和48（1973）年の開業

ですが、「北府中」の駅名になる前の歴史は古く、昭和9（1934）年に下河原

せん こくぶんじ とうきょうけいばじょうまえ かん かいつう おな とし ふじみかり
線「国分寺」—「東京競馬場前」間5.6kmが開通し、同じ年に「富士見仮

しんごうじょう かいせつ きたふちゅう えきせっち はじ
信号場」として開設され、これが「北府中」駅設置の始まりとなりました。

せんそうちゅう えいぎょうきゆうし しょうわ こくぶんじ
戦争中は営業休止となりましたが、昭和22（1947）年に「国分寺」

—「東京競馬場」間の営業が再開されると、昭和24（1949）年に「富士見

かりじょうこうじょう かいせつ しょうわ きたふちゅうしんごうじょう
仮乗降場」として開設され、昭和27（1952）年に「北府中信号場」

となり、昭和31（1956）年には「北府中」という駅名になりました。武蔵

のせんかいぎょう ぜんじつ しょうわ こくぶんじ きたふちゅう
野線開業の前日、昭和48（1973）年3月31日をもって「国分寺」—「北府中」

そして「東京競馬場」間5.6 kmが廃止され、翌日から

武蔵野線の「北府中」駅になりました。ホームの西側が東

芝の工場で、留置線*9と引込線があります。他に日本製

鋼所、府中刑務所、旧陸軍燃料廠（燃料の研究所）へ

の引込線もありましたが、現在は東芝への線路だけが残って

います。

*9 留置線とは？

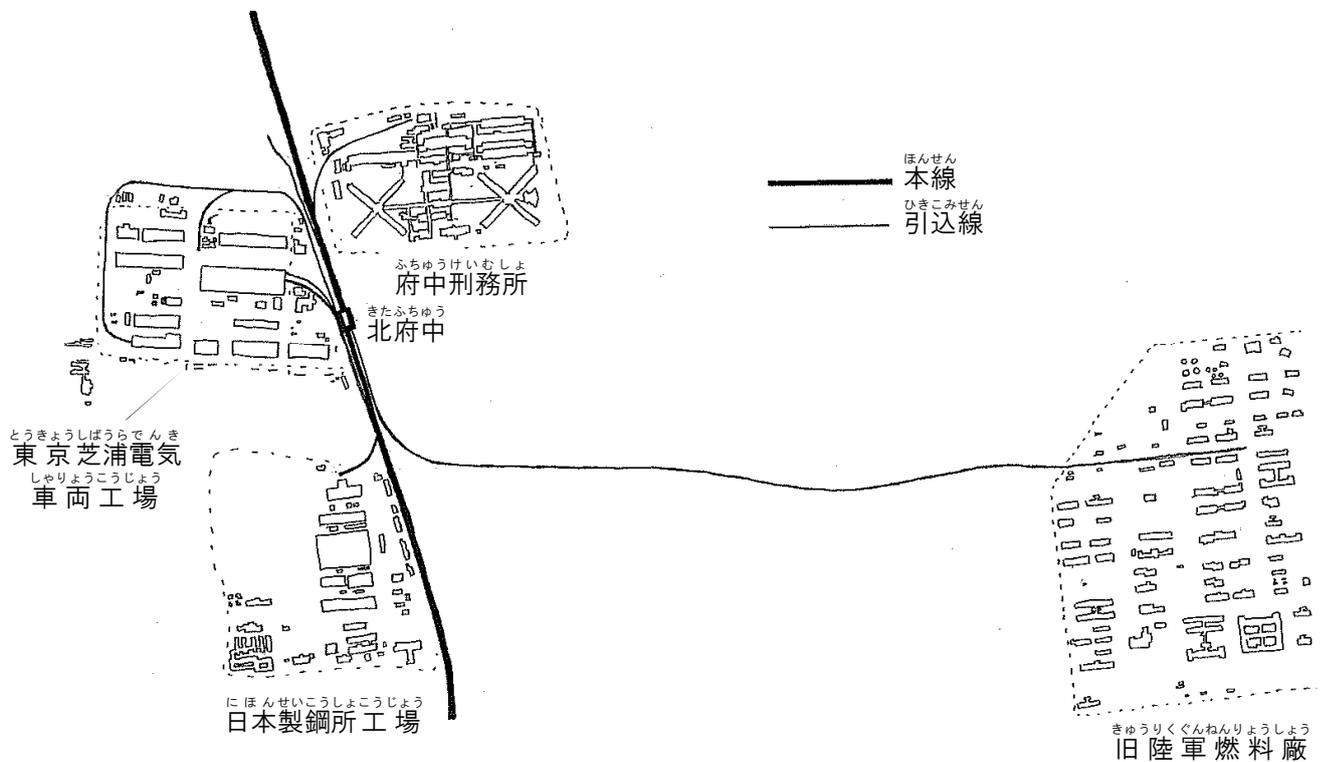
駅などで、一時的に車両を停めておくための線路を言います。

☆府中刑務所への引込線は、所内で作る製造品や完成品を運んだり、終戦直後

には傷ついた電車を所内で修理したり、専用の電車で服役者（罪をおかして

刑務所に入った人）を国鉄の修理工場まで運ぶために使用されていました。

昭和30年頃の北府中駅付近の引込線



もっと知りたくなったら読む本のリスト

しよめい ほん なまえ 書名 (本の名前)	ちよしゃ ほん か ひと 著者 (本を書いた人)	しゅっぱんねん 出版年	ほん せ 本の背ラベル
あるむぜお だいごう 第95号 (P.4-5 下河原線の跡を求めて)	ふちゅうしきょうと もりはくぶつかん へんしゅう 府中市郷土の森博物館/編集	2011年	F069/10/ア
ふちゅうし れきし しんぱん むさしこくふ 府中市の歴史 新版 武蔵国府のまち	ふちゅうしきょうと いくいんかいしやうがいがくしゅうぶしやうがいはくしゅうかぶん かざいたんとう へんしゅう 府中市教育委員会生涯学習部生涯学習課文化財担当/編集	2006年	F213/10/フ
たま だいごう 多摩のあゆみ 第88号 (P.74-77 多摩の鉄道あれこれ国鉄下河原線)	たま れきし びじゅつかんれきししりょうしつ へん たましん歴史・美術館歴史資料室/編	1997年	F213/03/タ
けいおうせんれきしさんぽ 京王線歴史散歩	せきね はるこ たきざわ ひとし 関根 治子・滝沢 仁志	1990年	F29/セ
けいおうでんしゃ かいつう ふちゅうえき 京王電車の開通と府中駅 ふちゅうしきょうと もりはくぶつかん 府中市郷土の森博物館ブックレット 18	ふちゅうしきょうと もりはくぶつかん へんしゅう 府中市郷土の森博物館/編集	2016年	F686/10/ケ
たま てつどうえんせんここんごあんない 多摩の鉄道沿線古今御案内	いまお けいすけ 今尾 恵介	2008年	686/イ
しゃしん み せいぶてつどう 写真で見る西武鉄道100年		2013年	686/シ
けいおうでんてつかくえきていしや 京王電鉄各駅停車	つじ よしき 辻 良樹	2015年	F686/00/ツ
けいおうでんてつ 京王電鉄ものがたり	まつもと のりひさ ぶん しゃしん 松本 典久/文・写真	2003年	F686/00/マ
とうきやう てつどういさん じやう ひやくよんじゅうねん 東京の鉄道遺産 上 四十年をあるく そうきやうきへん 創業期篇	やまだ としあき 山田 俊明	2010年	F686/00/ヤ
なんぶせん 南武線いまむかし	はらだ かつまさ 原田 勝正	1999年	F686/93/ハ
むさしのせん 武蔵野線まるごと探見	みよし よしぞう かきもと やすひろ 三好 好三・垣本 泰宏	2010年	F686/93/ミ

さがしている本が見つからないときは、図書館の人にきいてみましょう。



「府中の鉄道」こども府中はかせ No.6 2017年3月発行

府中市立図書館 編集・発行

<http://library.city.fuchu.tokyo.jp/>